

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	鹿島市立浜小学校 児童数 138人	担当者名	原 千尋 林 夏美
住所	郵便番号 849-1322 鹿島市浜町1239番地	電話番号	0954-62-2444

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためだけに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書大好き浜っ子 ～読書の輪を広げよう～
	取組期間	令和3年4月7日 ～ 令和3年11月30日

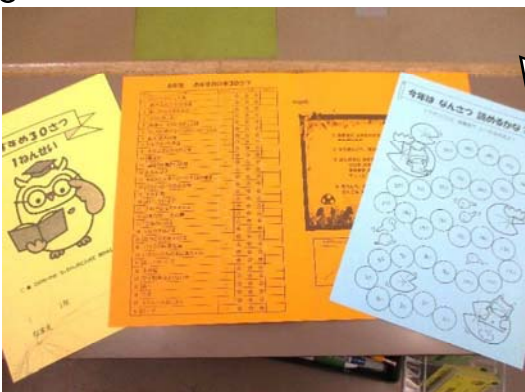
※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	150人	実施日数	238日	読書冊数	24869冊	連携した団体数	3団体
	取組内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ①学年ごとの「おすすめの本30さつ」を中心とした読書推進 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで読書 ・浜小ガーデン ・完読者紹介の放送、表彰 ・「おすすめの本第2弾」 ②6年間通してファイリング（年3回実施で6年間の取り組み） <ul style="list-style-type: none"> ・としょかんの旅 → 家族読書 → としょかんの旅 ③としょかん祭り ・読書パズル ・ぬりえ ・しおり作り <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ、私はだれでしょう？ ・読書郵便 ④多読者の掲示、表彰、個人冊数の見える化 ⑤地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・お話かあちゃんずによる読み語り（月1回） ・PTA 母親部による読み語り ・鹿島市民図書館との連携（2ヶ月に150冊巡回図書） ⑥教科教育との連携 ・英語教育支援員による読み語り ⑦季節展示による読書推進 						
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ①「おすすめの本30さつ」を通して、読書の輪を広げる <ul style="list-style-type: none"> ・2週間で同じ本を読み、朝の時間にグループごとに感想交流を行い、自分のおすすめの場面や言葉を紹介することで、読書の輪を広げ、一歩進んだ読書活動をする→みんなで読書 ・「おすすめの本30さつ」完読者は、達成した月ごとに違うおりがみで名前を掲示。見て分かる読書の輪→浜小ガーデン ・「おすすめの本30さつ」完読者は、「おすすめの本第2弾」として新たに20冊の本に挑戦する。第2弾は、国語の教科書で紹介されている本を中心としたので、教科とのつながりも持つことができた。→「おすすめの本第2弾」 ②6年間通してファイリングした、としょかんの旅・家族読書 <ul style="list-style-type: none"> ・6年間の成長を見ることができ、個人だけでなく、家族とも読書の輪を広げることができる。また、「としょだより」で紹介することで、全校で共有すること 							

	<p>もできた。</p> <p>③としょかん祭りによる、図書委員会を中心とした読書の輪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会を中心として、すべての準備を行った。読書バズルは、クラス一丸となって完成させ、ぬりえやしおり、クイズは個人での参加となるが、終了後に掲示することで、全校に読書の輪を広げることができた。読書郵便は今年度からの取り組みだが、学年をこえて郵便が出されており、読書の輪が広がっていることが分かる。 <p>④多読者の掲示・表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週200冊達成者を放送で紹介し、好きな本を持った写真を図書室に掲示している。表彰は、担任の先生から教室で行ってもらっている。また、個人の冊数の見える化のため、個人カードに10冊ごとにシールを貼っている。 <p>⑤地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、朝の時間に地域の読み語り団体、「お話かあちゃんず」による読み語りを実施してもらっている。自分では手に取らないような絵本も読んでもらえるので、コーナーを作って紹介している ・今年度初めて、PTA 母親部に「光の子集会」でパネルシアターによる読み語りをしてもらった。 ・鹿島市民図書館から2ヶ月に1回150冊の読書時間に読める本の巡回がある。本校では1～5年生に30冊ずつ配置している。 <p>⑥教科教育との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、英語教育支援員による読み語りを昼休みに実施。英語の絵本と触れあう機会を作ることができた。 <p>⑦季節展示からの読書推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏には「平和について考えよう」、秋には「〇〇の秋」、「長編に挑戦！」など、季節に応じた本を並べた。季節展示以外にも、「動物の本」や「伝記にふれよう」などスパンの短い展示や「小学図書館ニュース」のポスターを用いた展示も行った。また、秋にはPOPコンテストを行ったので、POPと本と一緒に展示した。目に入る本を定期的に入れ替えることで、読書の輪を広げるような展示を心がけた。
<p>取り組んだ感想</p>	<p>個人だけで行う読書活動だけでなく、周りの友だちや先生とつながる読書活動を目指して取り組んだ。コロナ禍であり、密集した活動は制限される中で、掲示や放送による活動を図書委員会中心に行うことができた。「おすすめの本30さつ」を活用した「みんなで読書」等の活動は、ずっと続けてきている活動なのでこれからも続けていこうと考えている。200冊達成者の写真やPOP、読書郵便などを見て、自分が普段読んでいる本とは違う本に興味を持っている姿が見られたので、読書の輪が広がっていると感じる事ができた。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまでに毎年積み重ねてきている「おすすめの本30冊」や「みんなで読書」、6年間通してのファイリング等を継続していきたいと考えている。今後も読書の輪を広げるために図書室の環境を整え、地域の人材なども活用した運営をしていきたい。</p>

① 「おすすめの本30さつ」を中心とした読書



「おすすめの本30さつ」の冊子

「おすすめの本30さつ」の冊子は、学年の個人カードの色に合わせ、同じ色画用紙で作成した。裏面に10冊ごとのシールを貼れるようなカードを印刷。(④個人冊数の見える化)

3年生以上は、「おすすめの本30さつ」から1冊選んで、2週間以内に読み、朝の国語タイムの時間に、グループごとに感想交流会を実施している。11月までに7回実施した。



「みんなで読書」をする児童

浜小ガーデンには、「おすすめの本30さつ」を完読した月にちなんだ植物や野菜のおりがみに、名前を書いて掲示している。準備は図書委員会が委員会活動の一環で行った。完読者は自分で好きな所に貼っていくシステムにして、達成感を持てるようにした。

また校長室で完読者の表彰式を行い、1人1人が校長から賞状をもらう形にし、写真を撮って図書室に掲示した。



浜小ガーデン



完読者表彰式



完読者の名前の掲示

6月 あさがお
7・8月 すいか
9月 くり
10月 カボチャ
11月 カエデ



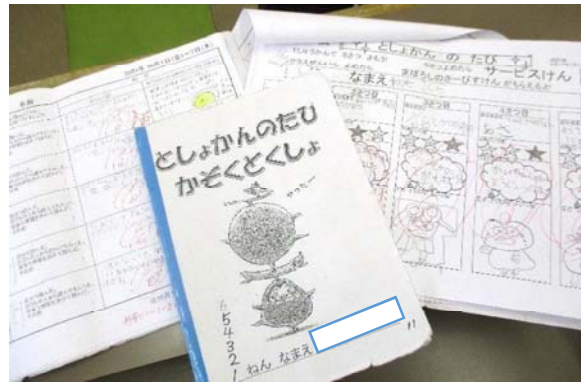
「おすすめの本第2弾」

「おすすめの本第2弾」は、国語科の教科書で紹介されている本を中心に、20冊でリストを作成したので、教科とつながりを持たせることができた。

おすすめの本は学年ごとに棚分けし、わかりやすいような配架を心がけた。また、背表紙に番号や学年を入れる等の工夫をし、低学年でもわかりやすいようにした。

②6年間通してのファイリング

年3回(としょかんの旅を2回、家族読書を1回)記録し、6年間ファイリングしている。ずっと続けている浜小学校の冊子で、6年生になると、台紙もぼろぼろになってきて、読書の記録がより感じられる冊子になっている。個人だけでなく、家族や学校での共有もでき、より読書の輪を広げるきっかけになる取り組みになっている。



6年間のファイリング

③としょかん祭り



読書パズル



図書委員の企画紹介風景



読書郵便ポストに投函する児童

読書パズルは各学年3種類用意。3種類全部終わったクラスには、図書委員会が給食時間にお邪魔して、担任の先生にサービス券の当たるくじを引いてもらった。



読書郵便はがき



担任の先生によるくじ引き

今年度から始めた読書郵便は、図書室内にポストを置き、全校からはがきを集めている。毎日10枚くらいの郵便はがきが配られている。3月まで続ける予定。

④多読者掲示、表彰、個人冊数見える化



200冊達成者写真



200冊達成賞



10冊ごとにシール

200冊達成者には、達成賞と好きな本を持つての写真撮影のご褒美を作っている。また①に記したように個人冊数の見える化をし、頑張りが見えるように工夫している。

- ⑤地域との連携
- ⑥教科教育との連携



「お話かあちゃんず」による
読み聞かせ



PTA母親部によるパネルシアター



英語の本の読み聞かせ



「お話かあちゃんず」コーナー

月1回、地域のお話ボランティアである「お話かあちゃんず」による読み語りが朝の時間にある。自分ではなかなか手に取らない本も読んで貰えるところが魅力で、図書室に蔵書がある本は、コーナーにして配架している。

PTA母親部には、今年度初めて、集会で読み語りをしてもらった。

また今年度は、英語の本を読んで貰う時間を昼休みに設けた。

これらのことから、自分では読めない本に触れるいい機会ができたようだった。

⑦季節展示からの読書推進



「〇〇の秋」コーナー



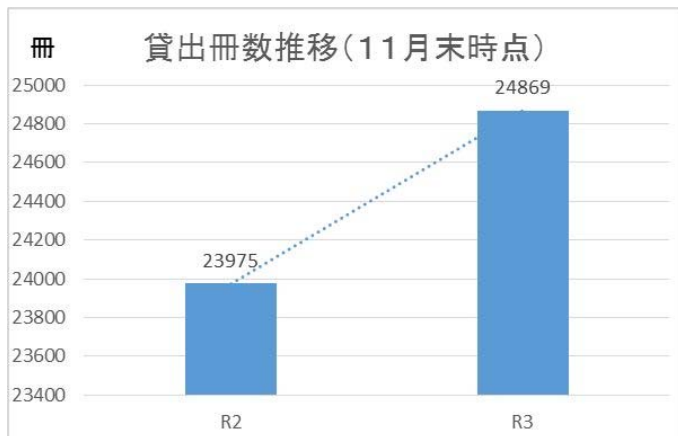
POPコンテスト作品&本コーナー

季節やイベントに合わせた展示は、いろいろなジャンルに触れる機会が増える。普段目にとめないような本を並べ、読書の輪を広げるような展示を心がけた。

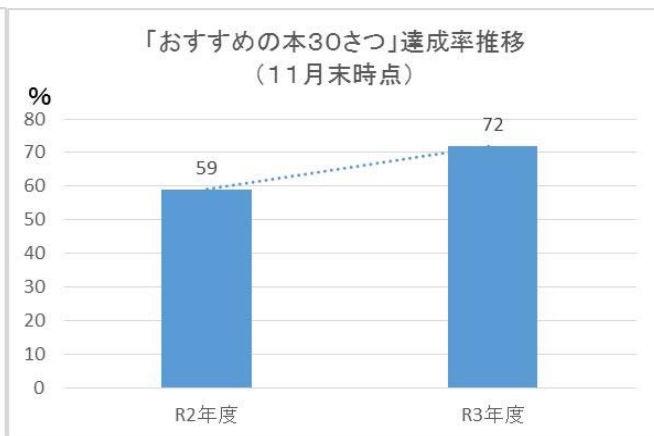
季節全体を取り扱った長期的な展示だけでなく、「動物の本」などスパンの短い展示も効果的だった。

読書量の推移

貸出冊数は昨年と比較して、約1000冊増えている。また、浜小学校の学校評価目標を、「『おすすめの本30さつ』全校で達成率90%」としている。こちらも11月末時点で、前年度と比べ13%UPという結果になっている。毎年の積み重ねにより、子供たち自身の図書への意識が向上してきていると感じられる。



貸出冊数の推移(11月末時点)



「おすすめの本30さつ」達成率の推移(11月末時)